

令和7年度 文化財課主要事業の予算

主要事業全体としては、14億2,211万5千円を計上し、昨年度比 1億3,468万7千円の減額となっている。内訳は以下のとおり。

1 文化財の保護管理

- 2億2,977万7千円(令和6年度から1,159万2千円の増)
- (4)①有形文化財(大年寺惣門大規模修繕工事費)
令和6年度当初予算の一部を令和7年度に繰り越したものの。
- (5)①仙台城跡調査
東丸土塁樹木伐採の完了等に伴い3,000万6千円の減。
- (6)史跡の公有化②郡山遺跡買上
令和6年度に行った個人所有地買上等分が4,390万5千円の増。

2 文化財の普及啓発

- 717万1千円(令和6年度から166万9千円の減)
日本の技フェア関連事業(せんだい技フェス)を他事業に継承したことによる減。

3 文化財調査

- 5億7,147万8千円(令和6年度から3,860万円の減)
- (1)①仙台城跡の大手門復元基本構想策定業務等に伴い956万8千円の増。
- (1)②公共事業・民間事業の受託に係るもの
3,954万2千円の減。民間事業者の開発行為等の進捗によって毎年増減がある。

4 所管施設の管理運営等

- 3億4,996万1千円(令和6年度から5,598万1千円の増)
- (5)指定管理施設維持修繕
富沢遺跡保存館 長寿命化改修工事 設計業務委託(新規)等により4,556万1千円の増。

5 災害復旧事業

- 2億6,372万8千円(令和6年度から1億6,199万1千円の減)

※詳細は「令和7年度 文化財課主要事業の予算一覧」(資料2別紙)を参照のこと